

「江ちぢみ」が地域ブランドに登録されたことを受けその普及活動のため地元を中心に麻製品の展示販売会「行・Show」を展開中です。今回は白雲館でその「行・Show」を開催中ということもありこの場所での勉強会となりました。「行商」をもじったものですが、商うより「行って見せる」という意味合いです。地域ブランドでありながら地元で認知されていないのは恥ずかしい。狭い意味の地域ではなく、世界へはばたくための地固めとしての地域でのPRです。目先のことではない10年後の湖東産地のために私たちは地道に動き出しました。実績を積み、いずれ産地自らがプロデューサーとなり産地ショップを持つことを目論んでいます。今回第2部で参加者の自己紹介の時間を設けました。今後、産地の素材+TDAのデザイン力+産地の加工技術の融合による新たな提案を期待しています。

第3部では西勝酒造の米蔵を改造した洒落た空間で郷土料理と地酒を味わいながら、和やかな交流会を持つことが出来ました。近江八幡の隠れた魅力とともに、湖東産地の秘められた可能性や魅力も発見していただけたのではないかと感じています。梅雨空の午後、たつぷりと有意義な時間を共有できたと思います。

(北川 陽子)

第7回デザイン展



■日時 平成20年6月4日(水) 10:00~17:00

■場所 久松区民館1,2号室 東京都中央区日本橋久松町1-2

■参加者

怡田 勉、今井 弘子、桑 和成、古関 崇尚、近藤 仁史、
斉藤 憲夫、斉藤 佳子、佐々木 尚、篠崎 昇、豊方 康人、
中山 陽子、浪江 陽子、宮嶋 直子、矢澤寿々子

6月4日に東京人形町の久松町区民館でTDA主催のデザイン展が開催されました。1回目の図案展より始めてデザイン展も7回目、徐々に業界でも認知されるようになってきたようです。出展者も関東、関西より14社の参加となり来場者、出展者、売り上げ等増加の傾向が見られてきました。比較的各社とも企画の立ち上がり時期でデザイン収集に興味があるということと、やはり7回も継続してきたということがよい結果を生んできたと思います。デザインの出展以外にもトヨシマビジネスシステム社の4Dboxのデモンストレーションなども加わり様々な出展者の個性の発表の場となりました。今後の8回目のデザイン展、中国上海テックスでの図案ブース展開を含めて、今後さらに発展していくように活動していきます。また、この紙面においてご来場された方、お手伝いいただいた方々へ御礼申し上げます。

(古関 崇尚)